

認定こども園ド・レ・ミ 社会見学でピーマンの収穫体験



9月7日、認定こども園長組の園児32名は、字大富の小山田農園を訪れ、社会見学の一環として町特産のピーマンの収穫を体験しました。園児たちは、最初に小山田さん夫妻からピーマンの収穫の仕方を知り、その後、ビニールハウスに移動すると、思い思いにお気に入りのピーマンを探し、袋一杯に収穫を楽しみました。

飲酒運転による交通事故を防ごう 飲酒運転根絶卓上のぼり旗配布



9月8日、新冠町交通安全協会本町・中央町支部と新冠駐在所は、飲酒運転の根絶と交通事故防止の啓発活動の一環として、本町と中央町地区の事業所を対象に「飲酒運転根絶卓上ミニのぼり旗」を配布しました。関係者は「みんなが意識を持つことで、飲酒運転の事故による悲劇が無くなる日がくるはず」と話していました。

朝日小創立100周年記念 100キロ100人駅伝開催



9月16日、新冠町立朝日小学校創立100周年記念事業の一環として「100キロ100人駅伝」が開かれ、朝日小児童78名と保護者22名、合わせて100名の選手が参加しました。



この駅伝では、平成20年に統廃合された朝日小学校区内の5つの旧小学校を巡るコースが設定され、選手たちは、赤・青・黄色の3つのチームを作り、33区に分けられたコースをタスキで繋ぎきりました。当日はコース沿線の地域住民も応援に駆け付け、選手たちに声援を送っていました。

救急の日記念講演会 講演「意識障害の見方」



9月9日、レ・コード館で救急の日記念講演会が開かれ、会場には約250名の参加者が集まりました。会場では、日高中部消防組合による心肺せいのデモンストレーションや保健師による血圧測定などが行われ、講演では、新ひだか町立静内病院の小松院長が「意識障害の見方」と題した講演を行いました。

第42回新冠中学校学校祭 スローガン「轍く未来へ」



9月17・18日の両日、新冠中とレ・コード館を会場に第42回新冠中学校学校祭が開かれ、生徒たちはクラス全員で取り組む合唱のほか舞台発表や壁新聞、壁画の制作に取り組みました。1日目に中学校体育館で行われた学年別による舞台発表では、一人ひとりが一生懸命に発表に取り組み、堂々とした演技を披露していました。

ま ち の 話 題

あれこれ

新冠の食材で調理する ふるさと給食



9月17日、新冠小学校で、地元食材を使った料理を提供する「ふるさと給食」が行われました。今年度1回目となるふるさと給食では、節婦産の真たことピーマンを使用した「たこピラフ」、茹でると繊維がほぐれてそうめんの様になるかぼちゃを使用した「そうめんかぼちゃサラダ」、ジャガイモやごぼうがたくさん入った「ふるさとスープ」、牛乳の風味が豊かな「ホロシリ牛乳」が提供されました。



子ども達は野菜や魚介類などの新冠の味覚をおいしそうに味わっていました。

祝百歳 おうるの郷・砂子澤さん 恵寿荘・田村さんと高岡さん



9月16日、今年で百歳を迎える長寿者に対し、小竹町長から内閣総理大臣の祝状と記念品の銀杯が伝達されました。また、長寿のお祝いと永年にわたり町の発展に寄与されたことに対する尊敬と感謝の意を込め、町からも長寿祝金が送られました。



田村ハツメさんと親族の方々



高岡ミツエさんと親族の方々

この日、字共栄の特別養護老人ホームおうるの郷では敬老会が開かれ、その中で翌年1月1日に百歳の誕生日を迎える、えりも町出身の砂子澤勇藏さんが小竹町長から祝状の伝達を受けました。また、特別養護老人ホーム恵寿荘では、9月10日に百歳の誕生日を迎える田村ハツメさんと、来年2月25日に百歳の誕生日を迎える高岡ミツエさんが、親族や施設関係者などが見守る中、小竹町長から祝状と記念品の伝達を受けました。町内の百歳を迎える長寿者は年々増加しており、今年度は5名が百歳を迎えました。

にいかつぷ・アートフェスティバル 夜空を舞うスカイランタン



9月22日、太陽の森デイマシオ美術館で「にいかつぷ・アートフェスティバル in 太陽」が開かれ、300名を超える来場者が集まりました。初めて企画されたフェスティバルのメインイベントは、参加者が手作りしたスカイランタンの打ち上げで、会場に集まった人々は、夜空に浮かぶ灯りの幻想的な風景に見入っていました。

字中央町 中村陸男さん 交通栄誉章「緑十字銅章」受章



この度、中村陸男さんが全日本交通安全協会「緑十字銅章」を受章され、静内地区交通安全協会細川好弘代表理事より表彰状を伝達されました。中村さんは、30年以上にわたり無事故無違反の優良運転者であること、また、永年にわたり新冠町交通安全推進委員として交通安全活動に尽力されたことが認められ、今回の受章となりました。